

あなたのまちの 在宅介護支援センター

市の委託を受け、ひとり暮らしの高齢者の訪問や、介護に関する相談業務を行っています。無料でご利用いただけます。

○在宅介護支援センター 飛鳥美谷苑

☎80-3102 (那加西市場町7-285-1)



佐藤 浩子

日高 寛

○総合在宅介護支援センター

☎83-7624 (社会福祉協議会内)



嶋瀬 敏雄

小林 ゆかり

○在宅介護支援センター つつじ苑

☎71-7368 (大佐野町2-58)



上野 敏秋

菅根 緑

柘植淳子

11月から ジョイフル各務原が新たに加わり、担当校区が変わりました！

お気軽にご相談ください！

たとえば・・・

- ひとり暮らしで、生活に不安がある
- 介護保険のサービスを利用したい
- 家族が痴呆になり、どうしたらよいかわからない
- 簡単な介護方法を教えてほしい
- 介護用品の説明をしてほしいなど、お気軽にご相談ください。



介護予防にも力を入れています！

各務原市転倒予防体操！

ふれあい・いきいきサロンなどに出向き、転倒予防体操の指導をしています。



痴呆にならないために

痴呆予防体操や、頭の体操もありますよ！



○在宅介護支援センター カーサ・レスペート

☎85-3912 (各務車洞6803-1)



新井 幸恵

○在宅介護支援センター かかみ野

☎84-8844 (鶴沼羽場町3-33-1)



下條 昌子

鈴木 英予

○在宅介護支援センター ジョイフル各務原

☎79-5611 (鶴沼小伊木町3-170-1)



廣瀬 武志



リフトの乗降中に気をつけることなど、全員で一つ一つ確認しました。

● 福祉カー貸出事業 ●

運転ボランティアの交流会を開催しました！



みなさんの意見交換と、無事故で活動するための研修を兼ねた交流会を、12月1日に開催しました。



平成15年度上半期の福祉カー貸出状況

240件 走行距離7,678km (5台の合計)
うち215件が運転ボランティアによる運転です。

たくさんの意見が出ました！ 一部紹介します！

- 福祉カーの制度を知らず、利用できない人がたくさんいるのではないか。もっとPRを。
- 乗降時のハザードランプ点灯等、安全運転に十分気を配っている。
- 利用者にわかりやすいよう、ジャンバー、腕章など運転ボランティアの目印を着用したい。
- 利用者の状態について、わかっている情報をおもつと詳しく教えて欲しい。
- 運転に集中するため、ボランティア2人体制が必要な場合がある。

- このような取り組みもされています -

市内に33ヶ所となつたふれあいいきいきサロン。各地域で月1～3回、楽しいふれあいの場を設けています。12月2日、三井北町みどりの会では、みどり幼稚園の園児を招いてサロンのクリスマス会を行いました。おゆうぎあり、ふれ合いありで、いつもより少しにぎやかなサロンとなりました。他の地域でも、花もち作りなど季節感あふれるいきいきサロンが開催されました。



12月はいきいきサロンも盛大に！



日産労連主催のクリスマスチャリティーコンサートが、県内の障害者施設などから約700名を招待して行われました。招待者の中には車いすを利用する方も40名程おられ、介助を行うこと、ステージ上での下り坂は後ろ向きに大目に、信頼関係を築きながら、スタッフが事前に車いす体験を行い、言葉かけを行い、信頼関係を築きながら、前までの下り坂は後ろ向きに介助すること、などを確認し合いました。

スタッフが車いす体験

第12回在宅介護者のつどい アンケート調査結果から

介護者の中心は女性

嫁が39.7%、妻が27.6%、娘16.4%、合計83.7%と、女性が介護の中心になっています。

また年代別で一番多いのは60歳代で38%でした。

介護を続けることへの不安

73%が「不安がある」と答えています。「介護者も高齢化して、通院や外出時に車いすでの介護は体力的に大変」「痴呆のため、腐った物を口にしたり、食べ物を隠したりと大変。介護の終止符はいつでしょうか?」「妻の行く末が不安。在宅での介護も限界にきました」などの切実な意見もありました。

一番の悩みは、「自分の時間がない」こと

「自分のことができない・自分の時間が持てない」という答えが46件、「体調がすぐれない」が15件、「仕事ができない・やめた」が13件、「睡眠時間がとれない」が12件などとなっています。

この他にも多数のご意見をいただきました。地域福祉活動計画策定などの参考にさせていただきます。



10月16日に開催。寝たきりの方、痴呆の方を介護しておられる方が参加されました。

こんな意見も

- 切実な介護。家族の協力や、サービスをうまく利用する工夫が必要!
- 往診の先生やケアマネさんに愚痴話を聞いてもらって、自分の健康に気をつけている毎日です。
 - 主介護者の休養日を週1日決めて、ストレスを解消する。長続きする介護を家族の話し合いで考え、協力しあっている。
 - 毎日のおむつ代とてもかさみます。
 - 嫁の立場で言いにくいこともあります。これから介護に不安を感じます。
 - 他の子どもから理解されていない。
 - どうしても強い口調になりがち。やさしくできなくて、精神的に落ち込む。
 - リハビリできる施設がもっと必要。

市内には連合自治会単位で17の支部社協があり、地域の特性にあった福祉活動を展開しています。皆さまからの会費が財源となっています。



完成! こんなに立派です。

三世代ふれあい“じめ飾り教室”的開催



こうやって編むのかあ。

三世代ふれあいの場として、大人と子供と一緒に一つの目的に挑戦し、意義ある支部の伝統行事としてこれからも続けていきます。

支部社協紹介⑥

陵南連合支部

新しい年を迎える昔からの習わし「じめ飾り」を作る行事は、陵南連合支部では、今年で17年も伝統的に引き継いで実施しています。

三世代ふれあい“じめ飾り教室”的開催

海の幸を取り入れた「しめ飾り」は、子ども達には全く経験がなく、フラに触れるのも初めて。稻穂の先でエビのヒゲ、マツチ棒で目玉にしたり、年末には、市販も出回るが、苦労した作りに心がこもり「にんまり」となり、ちょっとびっくりしたり。でも、一様に完成の喜びを表しています。

五穀農機のお礼・願いや、

新郎新婦の手紙などを贈ります。

12月の本番に備えました。

こんなボランティアさんいます!

○学習指導ボランティア

中学生(全教科)、高校生(理数系)を中心に指導します。不登校の生徒さんなど、ご相談ください。

○在宅障害者の方に パソコンの基礎を教えます。

ホームページ作りや、ワード・エクセルの基礎など。

詳細

地域福祉係 ☎83-7610

ボランティア

⑥ 津潟義之さん

ボランティアの方の紹介コーナー。今回は、手芸作品作りで地域に貢献しておられる、津潟さんをご紹介します。

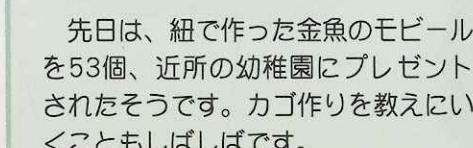
明治生まれの津潟さんは94歳。78歳までジャガード織りの機械を作るお仕事をしておられ、その後手先の器用さと好奇心を存分に発揮して、様々なものを作っています。

梶包用の紐を使う、カゴ・金魚・花束作りをはじめ、細い糸を編んだわら草履のキーホルダーなど、さまざま。作りすぎたミニわら草履(400個!)をどうしようかと相談したところ、交通安全の札をつけて配ることになり、感謝状をもらわれたこともあるそうです。

詩吟を習いにいったことがきっかけで書道の通信教育を受け、5段を取得するなど、津潟さんの興味の範囲は手芸だけではありません。

先日は、紐で作った金魚のモビールを53個、近所の幼稚園にプレゼントされたそうです。カゴ作りを教えにくともしばしばです。

「もう作るのやめようと思っても、なかなかやめさせてもらえない」と笑顔。私たちに、「生涯現役」のすごいお手本を示してください、津潟さんでした。



こんなに可愛くなります!

書き損じの年賀状 集めています!

書き損じハガキや古切手、使用済テレカを集めています。社協または市民サービスセンターのアイデアポストに投函して下さい。

ボランティアグループ紹介 41 各務原市 福祉の里

福祉の里総務課
☎ 70-7500

福祉の里では、平成9年の開所以来、約80名のボランティアの方に各々の施設で利用の方と共に活動していただいています。障害者ディサービス「ほぶら」では、ボランティア講師や介助ボランティアの方と一緒に組み紐や生け花、書道などの創作活動を楽しんでいます。また、社会適応支援の一環として、ボランティアの方によるパソコン操作支援も行っており、利用者の方が施設便りや月間予定表などを作成しています。その他の乳幼児や高齢者の施設においても教材づくりや利用者とのコミュニケーションにて活動できます。ボランティアの方のご都合のつく範囲で活動できます。どなたでもお気軽にご参加ください。



パソコン操作と一緒に

新各務原市、出発

～日本の危機を越えて～

各務原市社会福祉協議会



内総生産の一・六倍にふくれ上がり、
世界最悪の財政状況です。

さらに戦後半世紀余り、日本の人口は
約五千万人増加、これからの五十年少子
高齢化で五千万人減少時代に入りました。

日本の活力も明らかに衰弱化してきて
います。人口の減少と反比例するように、
高齢者は増加し福祉サービスを希望す

る人々は確実に増加してきます。すべて
が順調に成長する社会経済状況の下
で計算してきた今までのやり方は、あち
こちでほころびを見せ始めています。こ
れからは、福祉に対する考え方や制度が
大きく変化していくことでしょう。

福祉活動に休日はありません。皆様の
ご家庭で、地域で、今も活動は休むこと
なく続けられていることと存じます。福
祉はどんなに時代が移り変わろうとも
最後は人に支えられて成り立っています。

川島町の人々と各務原市とは、地縁、血縁、
歴史的由縁も深く、あの天正十四年（一
五八六年）の大洪水で、木曽川の本流が
現在の流路に確定、分断されて以来、約
四一八年ぶりの統合ともいえましょう。今、
合併協議は順調に進展し、夢ある新都市

今年は、川島町と合併し、新各務原市
へ出発の年です。

本市にとつて四十年ぶりの合併です。
川島町の人々と各務原市とは、地縁、血縁、
歴史的由縁も深く、あの天正十四年（一
五八六年）の大洪水で、木曽川の本流が
現在の流路に確定、分断されて以来、約
四一八年ぶりの統合ともいえましょう。今、
合併協議は順調に進展し、夢ある新都市

家庭の問題や生活の中の小さな不安、どん
なさいなことでも結構です。まずは話して
心を軽くしませんか？

民生児童委員・人権擁護委員の方が、親身
にお話をうかがいます。秘密は厳守いたします。

電話での相談も承ります。予約制ではありませんので、直接お越しください。

開設日：毎週火・木曜日 午後1時～4時
場 所：総合福祉会館2階 心配ごと相談室
電話の場合や問合わせ
地域福祉係 ☎83-7610

話し相手 ボランティア募集

在宅で生活する障害者の話し相手を募集しています。

①鵜沼に住まいの40代男性

脳性麻痺で言語障害をお持ちです。リハビリも兼ねて自宅での話し相手となってくれる女性の方を探しています。

②鵜沼に住まいの30代男性

視覚障害があり、抑うつ状態があるため、外出が困難です。自宅でお茶を飲みながら話し相手になってくれる女性の方を探しています。



詳細・申込
地域福祉係 ☎83-7610

畑作りのボランティアを募集しています！

痴呆の高齢者が共同で生活するグループホームです。隣に150坪の土地があるので、現在は3坪のスペースが精一杯です。家庭的な雰囲気の中で、野菜や花を作る楽しさと、仕事をする喜びを味わっていただこうと思っています。一緒に楽しく汗を流し、作業していただける方を募集しています。

まずは気軽に遊びにきてみませんか？

詳細・申込
グループホームすいせん
各務西町2-201
☎85-5461 担当：木村



年頭にあたり、福祉に携わるすべての皆様のご多幸を、心からお祈り申しあげます。

社会福祉協議会では登録ヘルパーを募集しています！

雇用形態：パート
資 格：ホームヘルパー2級以上
対 象：市内に住まいのあそそ55歳まで
の健康な方
詳 細：在宅福祉係
那加ステーション ☎83-7623
鵜沼ステーション ☎85-3310

ふれあいクッキング参加者募集!!

60歳以上の男性を対象にした料理教室です。
自分で作った料理を食べる楽しみを味わいながら、仲間づくりもできますよ！
初心者の方も是非どうぞ。



日 時：①平成16年1月26日（月）
午前9時30分～12時
②平成16年3月12日（金）
午前9時30分～12時
(両日とも)
場 所：総合福祉会館3階 料理室
協 力：食生活改善協議会のボランティアのみなさん
持ち物：エプロン・空容器
参加費：200円
申 込：地域福祉係 ☎83-7610
定 員：各日25名
締切り：1月19日（月）※1月5日（月）より受付
※応募多数の場合、抽選とします。
(抽選にもれた方のみご連絡します)

社協も合併をすすめています

現在、各務原市と川島町の一市一町の合併協議が進められていますが、社会福祉協議会も社会福祉法第109条の規定により、合併後の新市に複数の社会福祉協議会が存在することができないため、市町と同じように合併協議を進める必要があります。そこで、川島町社協と共同して様々な事項を協議し、調整していくための「各務原市・川島町社会福祉協議会合併協議会」を設立し、これまでに

2回の合併協議会を開催しました。
第1回合併協議会では、合併の方式、事務所の位置、合併に向けた事業計画、合併協議会予算などを話し合いました。

議会会長には森真各務原市社協会長に、副会長には野田敏雄川島町社協会長が就任いたしました。また第2回合併協議会では、合併の期日、新市社会福祉協議会の名称、ふれあいきさロン、福祉協力校事業、広報紙の発行などについて協議いただき、合併の期日は平成16年11月1日、新市社会福祉協議会の名称は「各務原市社会福祉協議会」で進めることが承認されました。



第1回合併協議会の様子

●合併協議会委員名簿

役職名	氏名	市町村名	職名
会長	森 真	各務原市	社協会長
副会長	野田 敏雄	川島町	社協会長
	安田 隆男	各務原市	社協副会長
	松尾 芳樹	各務原市	社協副会長
	小島 利郎	川島町	社協副会長
	尾閑 益男	川島町	社協副会長
	苅谷 弥四郎	川島町	社協副会長
	喜多川 紀	各務原市	社協常務理事
	磯谷 豊	各務原市	老人クラブ連合会長
	勝野ます子	各務原市	前地区民協会長
	岩田 春子	川島町	母子福祉会長
	青井とみ子	川島町	日赤奉仕団委員長
	熊崎 敏雄	各務原市	健康福祉部長
	川瀬 昌司	川島町	福祉衛生課長
監事	井戸 稔	各務原市	社協監事
	永田 市雄	川島町	社協監事

社会福祉協議会合併協議会は、市民の皆さんも傍聴することができます。今後の日時・会場等詳細については、地域福祉係 ☎83-7610にお電話下さい。

善意のご寄付をいただき誠にありがとうございました。

(敬称略・順不同) (10月17日~12月12日)

尾崎女声コーラスあじさい	28,092円
各務原市フォークダンス協会	50,000円
匿名	2,450円
遊菓教室 喬朱霞	39,200円
各務原ロータリークラブ	50,000円
	砂糖412kg
各務原市家庭婦人バレーボール連盟	100,000円
株式会社ロマンティア	
代表取締役 篠田充弘	300,000円
匿名	5,000円
那加第三女声コーラス	10,264円
ハマヤ善意の人 高垣正義	7,877円
物品	
丹羽フサエ	お手玉多数

社協 かかみがはら

2004年1月1日

No.111



ボランティア塾生 高齢者の気持ちを知る第一歩!

発行 社会福祉法人 各務原市社会福祉協議会
〒504-0912 各務原市那加桜町2-163 総合福祉会館 2階
電話 0583-83-7610 FAX 0583-82-3233
E-mail shakyo@chive.ocn.ne.jp
ホームページ http://www12.ocn.ne.jp/~k-shakyo/



この広報紙は共同募金配分金によって発行しています。